

南富良野小学校便り

やさしく あかるく たくましく



なんぷっ子

令和8年度 第4号

令和8年7月24日

南富良野町立南富良野小学校



TEL 52-2311

FAX 52-2375

←学校 HP QRコード

「ゆいまーる」がつないだ北と南の絆

馬場 泰 栄

沖縄には、「ゆいまーる」という美しい方言があります。「助け合う」「支え合う」「人と人とのつながりを大切にする」という意味をもつ言葉です。誰かが困っていれば自然に手を差し伸べ、喜びも苦労もみんなで分かち合う。この「ゆいまーる」の精神は、沖縄の人々の暮らしの中に深く根付いています。



今回、本町の小学校6年生は南富良野町沖縄交流事業で沖縄県本部町を訪問し、この「ゆいまーる」の心を肌で感じることができました。

北海道と沖縄。日本の最北と最南に位置する両地域は、気候も自然も文化も大きく異なります。南富良野町には雄大な山々や空知川、かなやま湖、四季折々の豊かな自然があります。一方、本部町にはエメラルドグリーンの海やサンゴ礁、色鮮やかな花々など、亜熱帯ならではの豊かな自然が広がっています。



しかし、その違いの中には、多くの共通点もありました。どちらの町も豊かな自然を大切にしながら暮らし、地域全体で子どもたちを温かく育てようとする風土があります。そして、自分たちのふるさとを誇りに思い、その魅力を未来へ伝えていこうとする思いは、南富良野町と本部町に共通する大切な財産です。

交流では、瀬底小学校での学校生活や給食交流、シーサーづくりやサーターアングギーづくり（※本部町教育長、自ら講師で教えてくださいました※）、美ら海水族館のバックヤード見学、平和学習など、沖縄でしか味わうことのできない貴重な体験を数多くさせていただきました。そして何よりも子どもたちの心に残ったのは、本部町の皆様の温かな人柄でした。



歓迎夕食会では本部町民の皆様に笑顔で迎えていただき、瀬底小学校では友達として温かく接

していただきました。ホームステイでは、家族の一員のように迎え入れてくださり、子どもたちは人の優しさや温もりに触れ、「また会いたい」「また沖縄へ行きたい」という思いを抱いて帰ってきました。まさに、「ゆいまーる」の心そのものを体験することができた数日間でした。



このような貴重な交流の機会をつくってくださった本部町役場の皆様、瀬底小学校の先生方・児童の皆さん、ホームステイを受け入れてくださったご家庭をはじめ、関係する全ての皆様に心より感謝申し上げます。皆様の温かな心遣いは、子どもたちにとって一生の宝物となりました。

また、この交流事業は、本部町の皆様だけでなく、南富良野町民の皆様の温かいご理解とご支援によって実現しています。「子どもたちに広い世界を見せたい」「多くの人との出会いを通して成長してほしい」という願い、そして長年にわたり築かれてきた南富良野町と本部町との親善をさらに深めたいという思いが、この交流を支えています。子どもたちは、多くの方々の期待と応援を受けて学ぶことができました。この場をお借りし、町民の皆様、保護者の皆様、交流事業に携わってくださった全ての関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

交流とは、相手の地域を知ることだけではありません。違いに触れることで、自分たちのふるさととのよさを改めて知ることでもあります。沖縄の海を見て南富良野の森や川の美しさを感じ、沖縄の温かな人々と出会って、地域の方々に支えられている自分たちの暮らしの尊さを改めて実感した子どもたちも多かったことでしょう。



本校では、「まほうかけあいだ」を合言葉に、思いやりと支え合いを大切にした学校づくりを進めています。沖縄で学んだ「ゆいまーる」の心は、「まほうかけあいだ」が目指す姿と重なります。この交流を一度の思い出で終わらせることなく、あらゆる機会を通じ、本部町との絆をさらに深めながら、子どもたちが互いの地域の魅力を学び合い、友情を育み続ける交流へと発展させていきたいと考えています。

さて、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。夏休みは、普段できないことに挑戦したり、家族や地域の方々と過ごしたり、自分の興味を広げたりする絶好の機会です。一日一日を大切にし、多くの経験を通して心も体も大きく成長してほしいと願っています。

一方で、交通事故や水の事故、熱中症など、夏ならではの危険もあります。「自分の命は自分で守る」という意識をもち、安全で健康な生活を送ることが何よりも大切です。地域の皆様には、夏休み中も子どもたちを温かく見守っていただけますようお願いいたします。

2学期、一回りも二回りも成長した子どもたちの元気な笑顔に会えることを、教職員一同、心から楽しみにしています。

沖縄県本部町交流事業

6月29日（月）から7月3日（金）までの5日間、6年生21名が沖縄県本部町交流事業に行ってきました。台風の心配もありましたが、天候にも恵まれ、全日程を無事に行うことができました。6年生は元気いっぱい、沖縄の自然・文化・歴史等を体感し、一回り大きく成長して帰ってまいりました。また、ホームステイを経験し、本部町の子どもたちと友好関係をより強固なものにすることができました。南富良野町の皆様の支援のおかげで、子どもたちは他で味わうことのできない貴重な体験をさせていただいております。心より感謝申し上げます。今後とも子どもたちのよりよい成長のためのお力添えをよろしくお願いいたします。



1年どころ野外学習

6月29日（月）1年生がどころ野外学校へ行き、森を散策してきました。生活科の学習として自然に親しみ虫や植物探しをしてきました。植物を手にとって春と比べて大きくなっていることを感じたり、見られる虫の種類が変わっていること気付いたりすることができました。また、川に入りジャブジャブと沢を歩く体験を大いに楽しみました。季節が変わり、秋になると森の様子はどのように変化するのでしょうか。楽しみです。



いじめ防止の取組について

6月に学校生活に関わるアンケートを実施いたしました。その結果、4月から6月までの間に「嫌な思いをしたことがある」と回答した児童が21名、そのうち「今も嫌な思いをしている」と回答した児童が8名おりました。学校ではこの状況を受け重く受け止め、「いじめは絶対許さない」という共通認識の元、不安や心配のある子どもたちに対して教職員が面談を丁寧に行い、子どもたちの心のケアや問題解決に向けて迅速にあたってまいりました。今後ともいじめを見逃さず、未然に防ぐことのできる学校づくりに努めてまいります。なお、お子様の様子で心配なことや悩んでいることがありましたら、学校の相談窓口として本校養護教諭がいつでもお話を伺います。ご家庭からも、どうぞ遠慮なくご相談ください。

3年生エジンバラ公の森で学習

7月14日（火）3年生がかなやま湖畔にある「エジンバラ公の森」の森を訪れ、森林学習を行いました。南富良野町森林組合の皆様を講師にお迎えし、説明を聴きながら森を散策しました。子ども達は実際に葉っぱを手に取り、手触りや形の違いを五感で確かめながら、木の種類を調べました。また、木の種類をビンゴ形式で楽しんで学習することができました。自分たちの住む南富良野町に、これほど多くの多様な樹木が生い茂っていることに、子ども達は驚きと感動の声を上げていました。ご指導いただきました森林組合の皆様、貴重な学習の時間をありがとうございました。



5年生川の学習

7月9日（木）5年生は理科の「流れる水と土地」の学習でホロカ川を訪れました。水の流れによって大きな岩が動かされた跡や激しく削り取られた大地を観察し、子ども達は流れる水の力のすざましさを肌で感じていました。観察の後半では、川の生き物探しにも挑戦しました。捕まえた生き物の中には、なんと絶滅危惧種のニホンザリガニもいました。南富良野には貴重な生き物たちが暮らす豊かな自然に囲まれていることを、身をもって実感できたようです。この美しい地元の自然を大切に思い、いつまでも守り続けていける大人に成長してほしいと思います。



日	曜	8月から9月までの行事予定
8/10	月	学校閉庁日（～8/14）
11	火	山の日
16	日	ノーゲームデイ
18	火	オンライン学活
19	水	2学期始業式
21	金	ALT
24	月	マラソンデー 健康相談週間（～9/4）
25	火	ALT クラブ活動⑥
26	水	4時間授業
27	木	合同宿泊学習（～7/28）
28	金	ALT
31	月	南富良野町防災の日 地域公開参観日 へき地校体験教育実習（～9/4）
9/1	火	開校記念日
2	水	チャレ
3	木	マラソンデー
4	金	町行事特別授業（半崎美子さん）
6	日	ノーゲームデイ
8	火	クラブ活動⑦（反省）
9	水	チャレ
11	金	ALT
15	火	委員会前⑤（反省） ALT
16	水	知能検査（1・4年） チャレ
17	木	修学旅行（～9/18） 遠足（1～4年）
20	日	ノーゲームデイ
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
25	金	ALT
29	火	臨時休業（南部地区研究大会のため）
30	水	前期通知表配付 委員会後①

★夏季休業は7月25日から8月19日までの25日間です。
南富良野小学校の学校閉庁日は8月10日から8月15日までです。緊急の場合は教育委員会（52-2145）に連絡をお願いいたします。